

# ふるさと創生基金事業

## ◎概要

ふるさと創生基金40億円の運用益(57,436千円)を均等割(各100万円)と人口割で配分し、地域毎に合併後の市民の連帯強化及び地域振興に要する事業を展開している。

平成22年度の川口地域の事業費 1,850,000円

## ◎基金で実施する事業

- (1) 各支所が行う旧町村単位の地域振興のための新規ソフト事業  
(地域委員会への諮問事項)
- (2) 本庁が行う旧長岡市域の地域コミュニティ振興のための新規ソフト事業
- (3) 本庁が行う新市の一体感の醸成に資する事業

## ◎事業の取り組み方法

ふるさと創生基金で地域づくりに取り組む方法としては、地域委員会において以下の手法を取り混ぜながら検討する。

- ・ 地域委員会が主体となって事業を発案し、実行委員会を組織して事業を実施する方法
- ・ 実行委員会が主体となって事業を発案し、地域委員会と協議をしたうえで事業を実施する方法

※ 実行委員会：まちづくり団体や町内会、行政などの関係者で組織。

## ◎事業検討の視点

合併協定や総合計画などで掲げる地域の将来像を見据えて、合併後の市民の連帯強化につながるもの、地域振興のきっかけになるなどの視点で取り組む内容を議論する。

## ◎平成22年度の取り組み

地域	事業名	内容
中之島	①伝統行事体験事業 ②大口れんこん収穫体験ツアー ③なかのしま探検隊 ④ふるさとカルタの作成	①大凧合戦会場に市民観覧席の設置。 ②収穫体験や料理教室の実施。 ③名所めぐり等を行い中之島の魅力と宝を発見する。 ④「ふるさと中之島」を学ぶカルタのリニューアル。
越路	①ホテル生息地整備事業 ②ふるさとカルタの作成 ③越路総力プロジェクト～こしじっていいな～事業	①池と湿地の造成。 ②「読み札」「絵札」を地域の小学生から募集し作成。 ③1年目こしじマップの作成 2年目ガイドマップの作成 3年目ガイドブックを使用した越路検定の実施。

三島	<p>①三島花いっぱい事業</p> <p>②里山整備と健康づくり事業</p> <p>③そばまつり月間事業</p> <p>④みしま西山連峰登山マラソン大会ランナーおもてなし事業</p>	<p>①各町内やメイン道路を花でいっぱい活動を実施。</p> <p>②里山をウォーキングコースとして整備し、利用者の健康づくりと交流を進める。</p> <p>③「そばまつり月間」を設定し、各地域や団体でそば打ちを実施し、そばのPRと特産品化に結びつける。</p> <p>④大学生から小中学生に走り方の指導を行うほか、住民によるおもてなし（ドリンク、軽食）の醸成を図る。</p>
山古志	<p>①やまこし検定</p> <p>②長岡まつり前夜祭民謡流しへの参加</p>	<p>①山古志の歴史や産業をはじめ、震災からの復旧・復興を簡潔にまとめたガイドブックを発行する。</p> <p>②講師を招き練習会を開催し、長岡まつり前夜祭民謡流しに参加する。</p>
小国	<p>①小国芸術村「衣人紙舞台」事業</p> <p>②「小国観光協会よっていがんかい」ホームページ作成事業</p>	<p>①参加者の手持ちの古布を使用して洋服を仕立てる実演を実施する。</p> <p>②「長岡小国」で検索しても観光名所やイベント情報を発信するサイトがないためWEBサイトを立ち上げる。</p>
和島	<p>①里山遊歩道魅力発信事業</p>	<p>①景観植樹、雪割草等の保護、遊歩道の整備、ハイキングマップの作成。</p>
寺泊	<p>①寺泊の現在の姿を残すDVD制作事業</p> <p>②地域を担う子どもたちへの寺泊特産品試食会</p>	<p>①四季を通しての地域で暮らす人々の様子や地域の歴史などを後世に伝えるDVDを制作。</p> <p>②各小学校を対象に寺泊特産品の試食会を実施する。</p>
栃尾	<p>①栃尾地域再発見セミナー</p> <p>②栃尾地域の歴史文化と暮らし紹介DVD作成事業</p> <p>③栃尾城物語冊子作成事業</p> <p>④とちお祭り事業</p>	<p>①講演会や勉強会の開催、会津ルート実体験と南会津との交流、歴史や関連施設を紹介するパネルやマップを作成し栃尾の魅力を発信する。</p> <p>②栃尾地域の昔懐かしい生活風俗や行事などを記録したフィルムの活用と現存する伝統芸能や歴史を撮影し栃尾地域紹介DVDを作成する。</p> <p>③冊子として作成し、歴史資料や観光ガイド資料として活用する。</p> <p>全日本少年少女樽みこし綱引選手権大会という珍しい行事をPRし、とちお祭りの誘客を図る。</p>
与板	<p>与板天地人行列拡充事業</p>	<p>地域内の関係団体とタイアップイベント等を企画し、与板地域内を行進する行列を盛り上げる。</p>
川口		

※長岡地域は、長岡まつりや中越・山の暮らし大・中学校事業の財源として活用。